

基金と町債の残高 (平成26年3月末 現在)

■基金残高合計 18億2,811万円

◇主な内訳(残高が1億円以上のもの)

財政調整基金	9億525万円
施設整備基金	5億128万円
国民健康保険財政調整基金	1億3,730万円

■町債残高合計 124億2,759万円

一般会計の町債	65億8,573万円
公共下水道事業債	31億7,770万円
水道事業債	16億4,700万円
病院事業債	10億1,716万円

各会計別決算

会計別	歳入決算額	歳出決算額
■一般会計	63億9,164万円	62億8,037万円
■特別会計		
国民健康保険	11億7,568万円	11億7,498万円
公共下水道事業	3億3,280万円	3億3,280万円
介護保険	13億2,613万円	13億2,029万円
後期高齢者医療	1億4,610万円	1億4,588万円
■企業会計		
病院事業	26億5,001万円	24億6,019万円
収益的	2億9,320万円	4億7,141万円
資本的	3億522万円	2億7,243万円
水道事業	1億5,799万円	3億2,630万円
収益的		
資本的		

一般会計事業別決算

議会費	6,276万円
総務費	16億447万円
民生費	11億6,925万円
衛生費	10億6,280万円
労働費	460万円
農林水産業費	3億7,191万円
商工費	1億1,122万円
土木費	4億8,071万円
消防費	2億7,433万円
教育費	3億2,626万円
災害復旧費	7,201万円
公債費	7億4,005万円

# 平成25年度 まちの家計簿

総務課 ☎52-3600

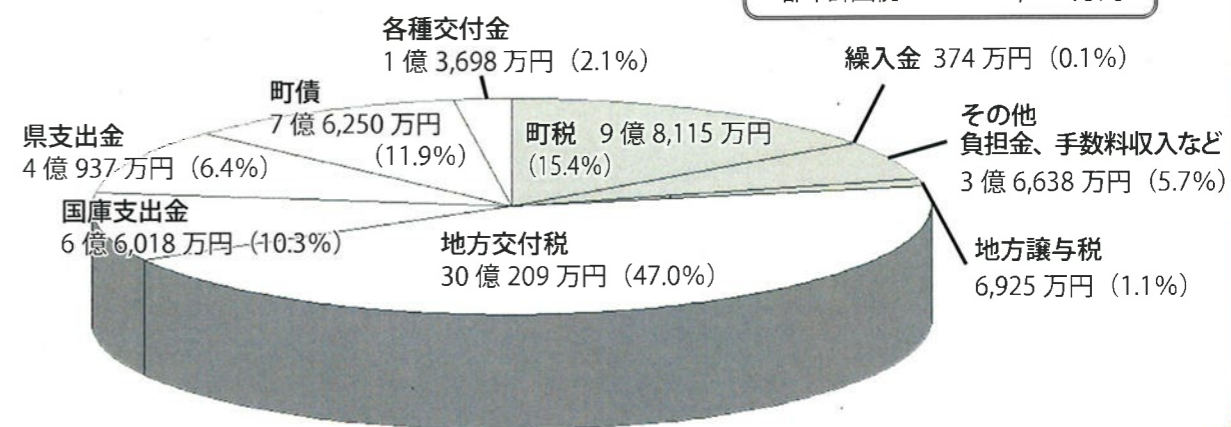
平成25年度一般会計・特別会計および企業会計の決算が、12月議会で認定されましたので、その概要をお知らせします。なお、掲載してあります金額は、紙面の都合上、1万円単位で表示しています。

## 一般会計歳入決算 63億9,164万円

- 自主財源(町税、繰入金、その他)
  - ・・・13億5,127万円(21.1%)
- 依存財源(地方交付税、国庫支出金など)
  - ・・・50億4,037万円(78.9%)

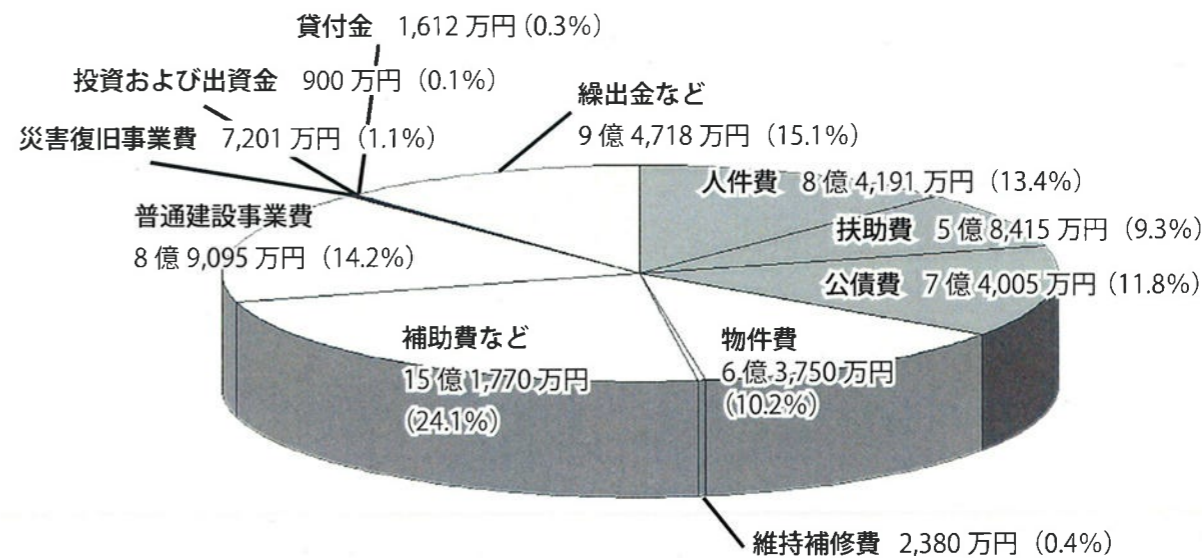
※町税収入の内訳

町民税	3億7,505万円
固定資産税	5億299万円
軽自動車税	1,961万円
町たばこ税	6,855万円
都市計画税	1,495万円



## 一般会計歳出決算 62億8,037万円

- 義務的経費(人件費・扶助費・公債費)
  - ・・・21億6,611万円(34.5%)
- 投資的経費(普通建設事業費・災害復旧事業費)
  - ・・・9億6,296万円(15.3%)
- 經常的経費(物件費・維持補修費・補助費など)
  - ・・・21億7,900万円(34.7%)
- その他(投資および出資金・貸付金・繰出金など)
  - ・・・9億7,230万円(15.5%)



財政構造指標

【経常収支比率】89.6

【実質公債費比率】13.2

【実質赤字比率】2.01

【将来負担比率】107.3

【連結実質赤字比率】25.48

町の全ての会計の赤字と黒字を合算して、全体の資金不足額と一般財源の規模を比較して、この数値が高いほど、町全体の財政運営が深刻化します。平成25年度決算においては、黒字のため、比率はマイナス表示となっています。

【実質公債費比率】13.2

【将来負担比率】107.3

町の一般会計の借入金(町債)や、将来支払っていく可能性のある負担などの残高から、将来の財政を圧迫する可能性がどの程度なのかを表すもので、この数値が高いほど、将来の財政を圧迫します。

【実質赤字比率】2.01

【連結実質赤字比率】25.48

	25年度	24年度	23年度	早期健全化基準	財政再生基準
経常収支比率	89.6	89.8	91.5	—	—
実質赤字比率	(▲2.01)	(▲1.39)	(▲1.92)	15.0	20.0
連結実質赤字比率	(▲25.48)	(▲19.37)	(▲9.95)	20.0	40.0
実質公債費比率	13.2	15.9	18.5	25.0	35.0
将来負担比率	107.3	113.8	121.5	350.0	—

を下回り、前年度との比較でも改善されていますが、依然として厳しい財政状況にあります。